

## IV 標準化会議の事業報告

### 1. 概要

平成 21 年度は前年度下期からの経済環境悪化の影響を受け標準化会議も例年と同レベルの活動を維持することはできなかったが、会員ニーズに基づく規格作りを積極的に進めている国内標準化活動に目を向けると J I S 5 規格の改正制定と改正 1 規格の原案作成作業を行った。さらに J S M A 1 規格の新規制定と 7 規格の改正制定を実施することができた。

一方、国際標準化活動では日本提案の I S O 2 規格を 6 月及び 7 月に発行することができた。さらに英国・マンチェスターで 11 月に開催された第 5 回 I S O / T C 2 2 7 ばね国際会議では新たに日本提案のばね記号の規格開発を進めることを決議した。また米国が T C 2 2 7 の P メンバとして新加入し名実ともにアジア・欧州・米国の国際規格開発の枠組みができた。

### 2. 標準化会議の開催

会 議	日 時	主な議案
第 1 回 標準化会議	平成 21 年 6 月 30 日 機械振興会館	1. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 2. 国内各規格開発 (JIS、JASO 及び JSMA) 活動 内容審議
第 2 回 標準化会議	平成 21 年 10 月 6 日 機械振興会館	1. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 2. 国内各規格開発 (JIS、JASO 及び JSMA) 活動 内容審議
第 3 回 標準化会議	平成 22 年 2 月 16 日 機械振興会館	1. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 2. 国内各規格開発活動内容審議 3. 今年度活動報告と来年度活動計画審議

### 3. 活動の詳細

#### 3. 1 国内規格関係

##### 3. 1. 1 J I S 規格関係

以下の改正 5 規格が 10 月に発行された。

- ① JIS B2704-1 : 2009 「コイルばね-第 1 部 : 圧縮及び引張コイルばね基本計算方法」
- ② JIS B2704-2 : 2009 「コイルばね-第 2 部 : 圧縮コイルばねの仕様の表し方」
- ③ JIS B2704-3 : 2009 「コイルばね-第 3 部 : 引張コイルばねの仕様の表し方」
- ④ JIS B2709-1 : 2009 「ねじりコイルばね-第 1 部 : 基本計算方法」
- ⑤ JIS B2709-2 : 2009 「ねじりコイルばね-第 2 部 : 仕様の表し方」

さらに JIS B2804 「止め輪」の改正原案作成作業を前年度から継続実施していたが 7 月末に作業を終了した。

平成 22 年度 JIS 原案作成公募制度を活用して B0103 ばね用語の改正を進めるための申請を 10 月に行い、来年度 4 月以降からこの作業を進める予定。

### 3. 1. 2 JASO規格関係

要素部会、車体・シャシ部会の活動に参加し小改正作業を進めた。要素部会の分科会活動ではJASO F209「自動車部品-ホースクランプ」の改正原案作成作業が12月に完了し、来年度初めには制定発行の予定である。

### 3. 1. 3 JSMA規格関係

各部会の年度計画に基づいて、JSMA規格の新規及び改正制定などを実施した。熱間成形ばね部会では次の5規格をいずれも5月に改正制定し発行した。

- ①SA001：2009「皿ばね」
- ②SA004：2009「角ばね」
- ③SA006：2009「トレーリングリーフ」
- ④SA007：2009「輪ばね」
- ⑤SA010：2009「重ね板ばね」

冷間成形ばね（線関係）部会では次の1規格を11月に改正制定し発行した。

- ①SB006：2009「スナップピン」

機能規格部会では以下の2規格のうち①を11月に新規発行し②は5月に改正発行した。

- ①SD013：2009「ばね用鋼線の硬さ測定方法」
- ②SZ001：2009「日本ばね工業会規格制定・改廃規定」

## 3. 2 国際規格関係

### 3. 2. 1 政府制度の活用

下記の政府制度を活用し、経済産業省、財団法人日本規格協会、株式会社三菱総合研究所の支援を頂きながら国際標準化活動を実施した。

#### (1) 重点TC等国際会議派遣事業

第5回ISO/TC227ばねマンチェスター国際会議に相羽国際幹事以下6名が出席した。11月12日、13日の2日間開催され1日目は各プロジェクトチーム会議、2日目は本会議が行われた。

#### (2) 国際規格共同開発

第5回TC227ばね国際会議で中国提案の「熱間成形圧縮コイルばね」はCD段階からDIS段階への移行を決議した。日本提案の「ばね記号」の規格開発は新たに4年計画で進めることを正式に決議し、NPからCD段階への移行を決議した。

### 3. 2. 2 ISO/TC 227ばねの国際規格開発推進をはじめとする国際標準化活動

(1) 国際規格をこのTC創設後初めて発行した。

ISO26909:2009 Springs—Vocabulary(7月1日発行)、ISO26910-1:2009 Shot Peening Part-1(6月15日発行)の2規格である。

(2) 8月28日に、中国・大連市で日中「熱間成形圧縮コイルばね」規格開発技術交流会が開かれ中国標準化技術委員会のメンバとCD案の討議を行った。阿久津標準化推進委員長以下2名が参加した。

(3) 9月28日、29日に、米国ラスベガス・グリーンバレーランチホテルでSMI主催のビジネスミーティングが開かれ相羽議長がISO/TC 227の活動状況を報告した。

(4) 10月20日、21日に、中国・海寧市の海州大飯店で第2回日中技術交流会が開かれ畑山東部支部技術委員長、阿久津標準化推進委員長他2名が参加した。国際標準化活動の意見交換、JIS B2704-1から-3の改正発行の内容を紹介した。

(5) 第5回ISO/TC 227ばね国際会議の前日11月11日に中国メンバと日本メンバで「熱間成形圧縮コイルばね」CD案の意見調整会議を実施した。